

授業改善等に関する報告書（2024年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

〔2024（前期）生活文化学科〕授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	田中 正浩	アンケートの回答数が少なく、これらをもとに分析、評価をするのは難しいが、敢えて言えば、授業で取り扱う内容が多少散漫になってしまったことを反省している。後期は、軌道修正をし、より活発な活動を目指して、内容及び方法の工夫を図りたい。
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	大澤 朋子	前期おつかれさまでした。 後期も常盤祭のポスター作成にむけてがんばっていきましょう。
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	作田 由衣子	前期は主に文献を読みながら計画を立てるという内容でしたが、後期はいよいよ実験や分析が本格化します。頑張りましょう。
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	笠原 良太	通年科目であり、回答者数が5分の1以下であるため、具体的なコメントは後期終了後に回答する。
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	水野 いずみ	初めてのゼミナールによく取り組んでいます。後期もよろしくお願ひします。
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	塩川 宏郷	前期は特に司法・犯罪心理学の教科書的な書籍を、一人一冊ずつ担当し章ごとにサマリーしていくという内容にしました。専門書の読解の練習でしたが内容を要約するためには、記載されている用語の定義や意味を理解する必要があります。
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	井口 眞美	実習で気ぜわしかった前期となりましたが、後期は保育園での発表に向けて、メンバーで協力し合い楽しい活動を作っていきます。 そして、現場の様子を理解することから、卒論のテーマも徐々に見つけられるといいですね。
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	渡辺 敏	回答ありがとうございます。この結果を後期に活かしたいと思います。
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	高橋 桂子	10人履修で回答なし。今年度から前期評価がなくなり通年評価となったこともあり、ゼミ教員としても積極的に記入するようにはいいませんでした。
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	島崎 あかね	アンケートの回答が2名であることを踏まえてコメントします。 ゼミナールでは、次年度の卒業論文執筆に向けた準備を進めていくことが大きな目標となっています。「運動」「健康」といったキーワードに沿って輪読したり測定・実験を行ってきましたので、後期には自分の卒論テーマを見つかるように、より積極的にディスカッションできる時間にしていきましょう。
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	塚原 拓馬	前期の結果を基にして後期はさらに改善していきたい
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	野尻 美枝	本科目は通年科目のため後期にアンケートを実施し、コメントします。
家庭教育論	水野 いずみ	ボリュームのある演習内容でとても大変だったと思いますが、がんばって取り組んでいました。この調子で各専攻の学びを深めていってください。
教育・学校心理学	作田 由衣子	進むスピードが速かったなどのコメントが見られましたが、一言言ってもらえれば調整できますので、授業が終わってしまう前にぜひ遠慮せずお知らせください。 説明がわかりやすかった、深いところも学べてよかったとのコメントもありました。保育者・教育者を志す方たちも、具体的実践の内容だけでなく、心理学の理論や科学的考え方を知っておくと、より広い視野と柔軟性を持てるのではないかと思います。
教育学概論	田中 正浩	アンケート結果を真摯に受け止め、受講生にとって熱心に取り組みたいと思え、自身の成長が実感できるような授業にしていきたい。とくに、授業方法については、わかりやすさに主眼を置いて、スライド資料や説明の仕方を工夫し、改善を図りたいと考える。
健康科学論 a（女性の体と心）	塩川 宏郷	女性の健康に特化して、思春期・青年期・更年期・老年期とライフステージごとに解説しました。また妊娠・出産・育児と育児支援についても系統的に学べる内容にしていますので、折に触れて資料を見直すなど自主学習を継続してください。
生涯発達心理学 a	塚原 拓馬	総合的に判断して概ね80%の受講生から一定の満足度を頂けた。今後はさらに満足度を高めるため授業内容の向上に努めていきたい。
生涯発達心理学演習 a	塚原 拓馬	少人数の演習であったが一定以上の理解と満足度を頂くことができた。今後は受講生のニーズも汲み取りより内容の向上に努めていきたい。

[2024 (前期) 生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
生活文化概論	島崎 あかね 大澤 朋子 井口 眞美 作田 由衣子 塩川 宏郷 高橋 桂子 塚原 拓馬 田中 正浩 井上 陽童 笠原 良太 野尻 美枝 水野 いずみ 渡辺 敏	小児科学では、子どもの発達を概説し、発達は環境との相互作用であること、その意味で途上国の子どもに目を向けてもらうという内容でした。学生諸君の課題への回答内容は期待に沿うものでした。
生活文化史 1	笠原 良太	難解な内容が多く、十分に噛み砕いて説明ができなかったため、来年はわかりやすく、具体例を挙げながら進めていきたい。
臨床心理学 1 (臨床心理学概論)	稲森 絵美子	臨床心理学は、私たちが人生で経験することの意味を理解し、より自分らしく生きようとするのを助けてくれます。興味をもって、さらに学びを深めていってもらえると嬉しいです。